

図書館

☆へいごう!

新着本のご案内

〔一般書〕

▼ムサシ(井上ひさし)▼大きな約束 続(椎名誠)▼徒然王子 第2部▼きりこについて(西加奈子)▼マリリン・モンローという女(藤本ひとみ)▼男と点と線(やまざきなおこ)▼最終目的地(ピーター・キャメロン)▼ちひろの昭和(いわさきちひろ)▼魔欲(山田宗樹)▼再生(石田衣良)▼恋細工(西條奈加)▼運命の人1・2(山崎豊子)▼遠い椿(澤田ふじ子)▼ガール・ミーツ・ガール(菅田哲也)▼桜の園(篠田真由美)▼整形前夜(穂村弘)▼待ってくれ、洋子(長門裕之)▼最初のおトコはたたき台(林真理子)▼パーフェクト・リタイヤ(藤堂志津子)▼闇の華たち(乙川優三郎)▼たまゆらり(高橋克彦)▼晋平の矢立(山本一力)▼パラドックス13(東野圭吾)▼さよなら、愛しい人(レイモンド・チャンドラー)▼生きなます力(柳田邦男)▼みその本みその料理(辰巳浜子)

〔児童書〕

▼さよならはいわない(おぼまこと)▼むしばいっかのおひっこし(にしもとやすこ)▼いっばいのおめどう(狩野富貴子)▼リコーとオスカーともっと深い影▼青い目の人形(原田一美)▼青い目とミニ(エリック・エリオット)▼よるとひる(レナード・ワイズガルド)▼カロリーヌはめいこイチ(ピエール・プロブスト)

— 話題の本 —
『再生』
(石田 衣良/著)
妻を自殺で喪い、息子をひとりで育てるサラリーマン。家族を捨て、後悔の念にさなまの日常に舞い降りた小さな奇跡とは？現代の心の渇きを潤す12話を収録した編集。

☆毎週土曜日
14時00分～
おはなしかい開催

図書館のホームページは <http://db.net-bibai.co.jp/wassamu/> アクセスしてみてね!!

病院だより

こんにちは検査室です

臨床検査技師 宮部 健治

今回は臨床検査について少しですが紹介させていただきます。

◎臨床検査とは？

病気の診断、治療効果の判定などを目的に行われる検査が臨床検査で、検体検査と生理検査に分けられます。

検体検査とは患者から採取した検体を対象とした検査です。血液・尿・便・喀痰などがあります。

生理検査とは直接、患者自身に対して行う検査です。当院では心電図検査、呼吸機能検査、眼底写真検査、聴力検査、超音波検査を行っています。



◎なぜ早朝空腹で採血？

よく健診や人間ドックでは「前日の夜9時以後は何も食べたり飲んだりせず病院に来てください」と言われますが、これは食事により影響を受ける検査項目があるからです。その代表が血糖と中性脂肪です。食事により血糖も中性脂肪も上昇します。血液検査の正常範囲は早朝空腹安静時で

採血した値が用いられていません。食後採血の検査値では正確な診断が難しくなります。尿検査では、食後の血糖が高い状態では糖が尿中に出てしまい尿糖が陽性となることがあります。血糖が高く糖尿病とか、中性脂肪が高く高脂血症などと診断されるのはいやですよね。

また、空腹時には胆のうに胆汁がたまっています。食事をするとうが収縮し、胆汁を排出してしまい、小さくなってしまう。超音波検査で胆汁がたまった状態だと検出できる胆石や胆のうポリープを見逃すことにもなりかねません。だから空腹での採血をお願いしています。

◎なぜ何本も採血？

健診などで採血するときには、何本かの容器(採血管)に分けることが多いと思います。これは採血管にそれぞれ異なる薬剤が入っていて、検査内容によって使い分けているからです。

◎痰？ つば？

咳をした時や咳払いをした時に喉の奥から出るネバネバしたモノ、これが痰です。「つば」と痰が同じと思っている方がよくいらっしゃいますが、「つば」は口の中に出るもの、



痰は肺や気管支から出てくるもので、全く別物です。肺や気管支の病気の時に「つば」を検査しても無意味ですので確実に「痰」をとってください。具体的な取り方は容器と一緒に渡される説明書をご覧ください。

◎早期発見が重要

これは私自身に起こったことです。去年、町立病院で人間ドックを受診しました。自分で自分の血液や尿や便を検査しました。便の検査で「異常」がありました。後日、大腸の内視鏡検査を受けたところポリープが見つかり、切除しました。「早く見つかって良かった、もう2年発見が遅れたらどうだったかな...。」と院長に言われました。早期発見できたことに感謝するとともに、町民の皆さまの健康を守るための町立病院の中で、これからも臨床検査という立場で頑張り続けたいと思っています。